

POSITION関数

フィールドの位置（テーブルの左側からの列の位置）を取得する

◇機能

指定されたフィールドがテーブルの左側から何列目に位置しているかを数値で返します。

スクリプトでPOSITION関数を使用すると、《新規フィールド追加》コマンドで新規フィールドを作成した場合などに、そのフィールドを何列目に配置するかを指定することができます。

◇構文

POSITION(<フィールド>)

引数	入力内容
1 フィールド	位置を取得したいフィールドを指定します。 省略可。省略した場合（フィールドを指定しない場合）は、テーブル全体の列数（フィールド数）を取得します。



◇戻り値のデータ型

数値型

◇処理の例

下のテーブルでPOSITION関数を使用した場合に取得される値の例です。

売上番号	商品No	単価	数量
30001	101	100	4
30002	102	50	3
30003	103	500	2

式	戻り値
POSITION()	4
POSITION([売上番号])	1
POSITION([単価])	3

◇使用例

● 新規追加したフィールドを特定のフィールドの後に配置する

(例) 下のテーブルに、《加工》-《新規フィールド追加》コマンドで、「販売金額」フィールドを作成します。



売上番号	商品No	単価	数量	販売金額
30001	101	100	4	400
30002	102	50	3	150
30003	103	500	2	1,000

以下のログが記録されます。

※コマンド実行時に、テーブル上で列を選択していた場合は、その列の後にフィールドが作成されます。

選択していない場合は、最終列となります。このログは、最終列に作成された例です。

DEFINE FIELD [販売金額] N PIC "True" POSITION 5 COMPUTED
[単価] * [数量]

この「POSITION」は、POSITION関数ではなく、列の位置を示す書式です。POSITION 列の位置

「販売金額」を「商品No」の後に配置したい場合は、以下のようなスクリプトにします。

DEFINE FIELD [販売金額] N PIC "True" POSITION POSITION([商品No])+1 COMPUTED
[単価] * [数量]

書式のPOSITIONの列の位置を記述する箇所に、POSITION関数を使用しています。

POSITION POSITION([商品No])+1

↓
POSITION 2+1

↓
POSITION 3

POSITION([商品No])で、
[商品No]フィールドの列の位置である
「2」を取得します。

売上番号	商品No	販売金額	単価	数量
30001	101	400	100	4
30002	102	150	50	3
30003	103	1,000	500	2

スクリプトを実行すると、
[販売金額]フィールドが
3列目になります。

- 新規追加したフィールドを常に最終列に配置する

```
DEFINE FIELD [販売金額] N PIC "True" POSITION POSITION() +1 COMPUTED  
[単価] * [数量]
```

POSITION POSITION() +1

↓
POSITION 4+1

↓
POSITION 5

POSITION()で、
テーブルの総列数「4」を取得します。

売上番号	商品No	単価	数量	販売金額
30001	101	100	4	400
30002	102	50	3	150
30003	103	500	2	1,000

スクリプトを実行すると、
[販売金額]フィールドが
5列目（最終列）になります。